

令和4年の素晴らしいスタートにあたって

自分の意見を伝えられる大人へ

市木小学校6年 大下 悠華

私の住む市木には、砂浜のきれいな石波海岸があります。そこにテトラポットが置かれる工事が進んでいます。その事を考えるとさみしい気持ちになります。私たち子どもの意見を聞いてもらっていない気がするからです。子どもちゃんと意見を持っているし、伝えたい、一緒に考えたいと思っています。

みんなが納得するよりよい世の中にするためには、何が必要なのでしょう。私は自分の意見をしっかり持ち、しっかりと伝えることが必要だと思います。ところが、私は、自分の意見をみんなに伝えることが苦手です。伝えた方がいいと分かっているのに伝えられないことがたくさんあります。自分の意見をみんなに伝えられなかった時は、「あの時言っておけばよかった」と後悔します。他の誰かが言ったことがいい意見だ、と思ったら、えんりょして自分の意見を伝えられなくなってしまいます。一方で、自分の意見を伝えられた時は、前向きな気持ちになります。伝えることで自分に自信が付き、新しい自分になれた気がします。

そんなことを去年の運動会で経験しました。私たちは、運動会で毎年、先生方に決められていた表現運動をしていました。でも、私は、小学校生活最後に自分たちで作ったダンスを発表したいと思っていました。そこで、勇気を出して、先生に私の思いを伝えました。強い思いに友だちが賛成してくれて、協力してくれました。自分たちで考えたダンスを練習しました。私の思いはみんなの思いになっていきました。私の小さな行動がみんなを動かし、見事本番ではみんなで、楽しく発表することができました。誰かに思いを伝えるということは、自分以外の誰かをも変える力があるということを実感することができました。勇気をもって伝えてよかった。心からそう思えました。

私は、将来どのように生きるかをまだ決めていません。けれど、自分の意見をもって、それをしっかり伝えることを続けていくと、自分がどのように生きていき、どんな世の中で生きていきたいのかが見えてくると思っています。人に任せろのではなく、自分が責任を持って、しっかりと意見を伝え、自分をもっと成長させたいです。私の成長がみんなのためにもなるはず。そのために今日、私はここに立って意見を伝えようと挑戦しました。

私は、みんなが納得できるように、子どもたちの意見にも耳をかたむけ、みんなのために自分の意見をしっかりと伝えられる広く優しくかっこいい大人になりたいです。そして、みんなといっしょにもっとよりよい世の中になりたいです。



※1月15日に開催された串間市青少年の声を聞く会で意見を発表した大下悠華さんの作文です。1月6日の始業式でもみんなの前で発表してもらいました。「児童一人一人が日々の小さな挑戦を通して自らの感性を磨き、より良く生きることを希求する主体的な態度を育てる教育」という本校の学校経営ビジョンをまさに体現するような素晴らしい作文です。ぜひ、多くの人に伝えたい、素敵で頼もしい意見だと思います。

参観日、学校保健委員会、ありがとうございました。



1月14日は、授業参観（防災教室）と学校保健委員会が開催されました。授業参観は、防災についての学習でした。急きよリモートでの開催となりましたが、これを機に、親子で防災について話をする機会が増えれば幸いです。

参観日も残すところ3月の1回のみとなりました。色々な意味でまとめの時期となってまいります。特に6年生は、残り2か月程の小学生生活を有意義なものとするよう、また、中学校生活に向けた心と体の準備を計画的に進めてほしいと思います。そして素晴らしい思い出をたくさんつくってください。

学校保健委員会では、情報に関わる問題について考えていただきました。情報活用リテラシーの重要性が叫ばれる一方で、この問題は、情報モラルや健康への影響など、状況によっては、命にまで係わるような事態に発展することさえあります。スマホなどの情報機器は諸刃の剣、その剣なしでは生きて行けない世の中であることも現実ですが、使い方を誤れば人を傷つけ、自分を傷つける凶器を子どもに与えるのは、他でもない保護者。その判断には大きな覚悟と責任が必要です。



「人権の花」、寒さに負けず育っています。



昨年の12月1日に植え替えをした「人権の花」が順調に育っています。パンジー、ノースポール、キンセンカ、ビオラ、ハボタン、ポピーの6種類が、正門の生垣の根元に寒さに負けず花を咲かせています。門松がなくなって少し寂しくなっていた正門付近ですが、春の花々が少しずつ成長し、子どもたちを優しく迎えてくれています。卒業式に向けて「一人一鉢」も始まっていますので、花一杯の春の到来が今から待ち遠しいところです。来年度もぜひ継続したい「人権の花」です。

たくさんの本を寄贈いただきました。

12月7日に、日南市在住の岡本順さんより、沢山の本を寄贈いただきました。岡本さんは本の挿絵を描く仕事をされているということで、頂いた本には全て岡本さんのイラストが掲載されています。道徳の教科書等にも岡本さんの作品が掲載されているということです。

自分のやりたいことを貫き、挿絵という形で多くの人に感動を与えている岡本さん。今回、子どもたちの成長を願い、沢山の本を寄贈いただいたその行動は、まさに、よりよい世の中の実現を願う広く優しくカッコいい大人の姿そのものとして子どもたちの心に残ることと思います。



2月の行事予定

- 10日 新入児保護者説明会（低学年交流）
- 18日 保育所園児との交流会（低学年）